

平成 28 年 3 月 8 日

鹿児島大学病院で子宮腫瘍精査目的にて MRI 検査を受け

組織学的診断が得られた患者さん等へ

(臨床研究に関する情報)

鹿児島大学病院放射線科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

子宮腫瘍の診断における拡散尖度 MR 画像ディーケーエムアールアイ ディフュージョン (DKMRI:Diffusion カートーシス マグネティック リゾナンス イメージング Kurtosis Magnetic Resonance Imaging)の有用性の検討(後ろ向き観察研究)

【研究機関】

鹿児島大学医学部・歯学部附属病院
放射線診療センター 放射線科

【研究責任者】

鹿児島大学医学部・歯学部附属病院
放射線診療センター 放射線科
助教 熊谷雄一

【研究の目的】

子宮腫瘍の良悪性は治療方針を決定する上で重要です。MRI 検査は子宮腫瘍の性状評価および周囲との関係性を評価する上で有用とされています。最近、頭部領域の MRI 検査で広まりつつある拡散尖

度 MR 画像は細胞内・細胞外液内での水分子の微視的な動き（腫瘍の細胞密度など）を評価する撮像法です。子宮腫瘍の診断において、拡散尖度 MR 画像が良悪性診断に有用であるか調べることを目的とします。

【研究の方法】

●対象になる患者さん

平成25年10月1日から平成27年12月31日までに鹿児島大学病院でMRI検査が施行され、子宮腫瘍もしくは正常子宮内膜の組織学的診断が得られた患者さんを対象としております。子宮腫瘍もしくは正常子宮内膜のパラメータ（MD：mean diffusion、MK：mean kurtosis）を測定し、子宮腫瘍と正常子宮内膜のMDとMKの違いを比較、検討します。

●利用する情報

撮像された拡散尖度 MR 画像を利用します。

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

本研究のデータ解析に関する費用は鹿児島大学大学院医歯学総合研究科放射線診断治療学分野の研究費で実施し、研究に参加頂く患者さんの負担はありません。また、企業等からの寄付は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご

連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 放射線診療センター 放射線科

助教 熊谷雄一

電話 099-275-5417 FAX 099-265-1106